

●ヘルプマーク

義足や人口関節を使用している人、内部障害や難病の人、妊娠初期や発達障害を抱える人など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう作成されたマーク。

●軟骨伝導イヤホン

耳の周囲の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導」の仕組みを使ったイヤホン。軽く当てるだけで聞き取ることができ、装着時の痛みが少ない。



令和4年度から通学路の安全対策に重点的に取り組んでおり、**ハンプ**等による車両の速度抑制、路面表示や区画線の塗り直し、カーブミラールの設置など、安全施設を整備している。令和6年度からはゴム製の簡易型ハンプを、従来のアスファルト施工に加えて重点的に整備していく。



令和6年度から通学路の安全対策に重点的に取り組んでおり、**ハンプ**等による車両の速度抑制、路面表示や区画線の塗り直し、カーブミラールの設置など、安全施設を整備している。令和6年度からはゴム製の簡易型ハンプを、従来のアスファルト施工に加えて重点的に整備していく。

令和6年度から、市教育委員会が訪問看護事業所などと委託契約を結び、校外学習や修学旅行に看護師が同行し、医療的ケア児のケアができるようになり、今後も継続して看護師派遣ができるよう努めていく。

令和6年度から、市教育委員会が訪問看護事業所などと委託契約を結び、校外学習や修学旅行に看護師が同行し、医療的ケア児のケアができるようになり、今後も継続して看護師派遣ができるよう努めていく。

●重軌条

鉄道などのレールの種類で、1m当たりの重量30kg以上を重軌条、30kg未満を軽軌条と呼ぶ。重い軌条（レール）のほうが強度があり、振動も小さくなるほか、レール自身の寿命が延びる。



●ハンプ (P9参照)

交通安全対策のために、道路の路面に設けられた凸状部分のこと。生活道路等における車両の速度抑制のために設置される。

踏切の安全対策
三井 暢秀 (市民クラブ)

質問 本市における第4種踏切道が、廃止や改良に至るまでの間の安全対策は。
答弁 市内に21カ所ある第4種踏切道を対象に現地調査を行い、安全性の確認をした上で、当面の処置として、見えにくい注意喚起の看板やカーブミラーの交換・設置、区画線の施工など、改善が必要な踏切の安全対策を上信電鉄と協議しながら取り組んでいる。

質問 上信電鉄の安全対策に対し本市が行っている支援は。
答弁 上信電鉄の運行継続を目的として、沿線市町村や県と協調して補助金による支援を行っている。この補助金は、安全性の向上に資する設備の整備を対象として、道床改良や路線の**重軌条化**、まくら木のコンクリート化や信号機器の更新など、日々の輸送の安全と安定した運行を確保するために要する経費に関して支援しているものである。

質問 高齡者や子どもなど、特定の年齢層に対する交通安全対策の取り組みは。
答弁 幼稚園、保育所等の子どもを対象とした交通安全教室リスクラブでは、職員が施設を訪問し、身ぶりやパペット人形を用いて交通ルールの大切さを伝えている。高齡者向けには、うぐいすクラブを開催し、交通安全講話のほか、体操や脳トレクイズなどを織り交ぜ、楽しく理解を深めてもらっている。

質問 交通安全対策と施設整備
渡辺 隆宏 (新風会)

質問 高齡者や子どもなど、特定の年齢層に対する交通安全対策の取り組みは。
答弁 幼稚園、保育所等の子どもを対象とした交通安全教室リスクラブでは、職員が施設を訪問し、身ぶりやパペット人形を用いて交通ルールの大切さを伝えている。高齡者向けには、うぐいすクラブを開催し、交通安全講話のほか、体操や脳トレクイズなどを織り交ぜ、楽しく理解を深めてもらっている。

質問 高齡者や子どもなど、特定の年齢層に対する交通安全対策の取り組みは。
答弁 幼稚園、保育所等の子どもを対象とした交通安全教室リスクラブでは、職員が施設を訪問し、身ぶりやパペット人形を用いて交通ルールの大切さを伝えている。高齡者向けには、うぐいすクラブを開催し、交通安全講話のほか、体操や脳トレクイズなどを織り交ぜ、楽しく理解を深めてもらっている。

質問 高齡者や子どもなど、特定の年齢層に対する交通安全対策の取り組みは。
答弁 幼稚園、保育所等の子どもを対象とした交通安全教室リスクラブでは、職員が施設を訪問し、身ぶりやパペット人形を用いて交通ルールの大切さを伝えている。高齡者向けには、うぐいすクラブを開催し、交通安全講話のほか、体操や脳トレクイズなどを織り交ぜ、楽しく理解を深めてもらっている。

質問 高齡者や子どもなど、特定の年齢層に対する交通安全対策の取り組みは。
答弁 幼稚園、保育所等の子どもを対象とした交通安全教室リスクラブでは、職員が施設を訪問し、身ぶりやパペット人形を用いて交通ルールの大切さを伝えている。高齡者向けには、うぐいすクラブを開催し、交通安全講話のほか、体操や脳トレクイズなどを織り交ぜ、楽しく理解を深めてもらっている。

ハラズメント対策
給食費の無償化
三島 久美子 (たかさぎ未来)

質問 あらゆるハラズメントから市職員を守るハラズメント防止条例を制定するべきと考えるが、本市の考えは。
答弁 近年、幾つかの団体で特別職や議員も対象としたハラズメント防止等の規定を条例化している事例がある。しかし、本市や多くの他自治体では、国に準じた規定により対策に取り組んでいる。ハラズメントの種類や対象を独自に定める条例の制定については、相談状況や実態を踏まえながら研究していきたい。

質問 学校給食費の第2子以降無償化、第1子の10%軽減を実施するためには膨大な予算が必要となるが、どのように財源を確保するのか。
答弁 主に既存事業の見直し等による削減で賄うほか、基金や有利な起債の活用についても再検討することにより、今後の予算編成の中で一般財源の確保に努めていく。

質問 本市における青少年の健全育成の取り組み
青木 和也 (新風会)

質問 青少年の健全育成には、青少年を周りがケアし、サポートしていくことが重要と考えるが、本市での取り組みは。
答弁 本市では青少年補導センターを設置し、年間約200回の街頭補導、高崎まつり等での特別補導などを行い、青少年の健全育成と非行防止を推進している。また、小学校3・4年生を対象に警察職員による万引き防止教室を実施し、子どもたちが自分の行動に責任を持つことの重要性を認識する機会としている。

質問 青少年の健全育成には、青少年を周りがケアし、サポートしていくことが重要と考えるが、本市での取り組みは。
答弁 本市では青少年補導センターを設置し、年間約200回の街頭補導、高崎まつり等での特別補導などを行い、青少年の健全育成と非行防止を推進している。また、小学校3・4年生を対象に警察職員による万引き防止教室を実施し、子どもたちが自分の行動に責任を持つことの重要性を認識する機会としている。

質問 青少年の健全育成には、青少年を周りがケアし、サポートしていくことが重要と考えるが、本市での取り組みは。
答弁 本市では青少年補導センターを設置し、年間約200回の街頭補導、高崎まつり等での特別補導などを行い、青少年の健全育成と非行防止を推進している。また、小学校3・4年生を対象に警察職員による万引き防止教室を実施し、子どもたちが自分の行動に責任を持つことの重要性を認識する機会としている。

質問 青少年の健全育成には、青少年を周りがケアし、サポートしていくことが重要と考えるが、本市での取り組みは。
答弁 本市では青少年補導センターを設置し、年間約200回の街頭補導、高崎まつり等での特別補導などを行い、青少年の健全育成と非行防止を推進している。また、小学校3・4年生を対象に警察職員による万引き防止教室を実施し、子どもたちが自分の行動に責任を持つことの重要性を認識する機会としている。

学校教育の現状と課題
根岸 赴夫 (新風会)

質問 中学校における制服等の校則の決定方法は。また、通学かばんの重さを軽減するための解決策は。
答弁 制服や靴下の色等に関わる校則等は、各学校で健康面や学習面等を考慮しつつ、生徒の考えを踏まえながら決めている。通学かばんの問題については、児童・生徒の健康面や自転車運転時の安全性の観点から、全学校で家庭に持ち帰らなくてもよい教材等のガイドラインを定め、重さの軽減に配慮している。

質問 来年度からの給食費補助の概要と今後の進め方は。
答弁 物価高騰等による子育て世代の経済的負担を軽減するため、令和7年度から第2子以降の市立小・中学生の学校給食費無償化と第1子の給食費を10%軽減する方針で、現在、第2子以降の申請方法等の詳細について準備を進めている。

質問 物価上昇の影響で奨学金の返済が重荷になっている若者もいると思うが、本市が実施している奨学金制度の返済が困難な人に対する支援は。
答弁 現在計13人の学生が高崎市奨学資金を利用しており、離職や結婚・出産等の生活状況の変化により当初の返済計画が難しくなった場合は、返済額の引き下げや返済期間の延長などの相談に応じている。

質問 本市で働く若者を定着させるには、市内事業者への支援が重要だと思うが、どのような支援をしているのか。
答弁 本市が独自に実施している中小企業就職奨励事業では、市内中小企業に就職した若者に10万円分の電子地域通貨「高崎通貨」を交付している。また昨年度から本年度にかけて中小企業給与改善奨励事業を実施し、働く若者の収入向上や職場への定着につなげる取り組みを実施している。

質問 物価上昇の影響で奨学金の返済が重荷になっている若者もいると思うが、本市が実施している奨学金制度の返済が困難な人に対する支援は。
答弁 現在計13人の学生が高崎市奨学資金を利用しており、離職や結婚・出産等の生活状況の変化により当初の返済計画が難しくなった場合は、返済額の引き下げや返済期間の延長などの相談に応じている。

質問 物価上昇の影響で奨学金の返済が重荷になっている若者もいると思うが、本市が実施している奨学金制度の返済が困難な人に対する支援は。
答弁 現在計13人の学生が高崎市奨学資金を利用しており、離職や結婚・出産等の生活状況の変化により当初の返済計画が難しくなった場合は、返済額の引き下げや返済期間の延長などの相談に応じている。

市内で働く若者への支援
後藤 彰 (新風会)

質問 物価上昇の影響で奨学金の返済が重荷になっている若者もいると思うが、本市が実施している奨学金制度の返済が困難な人に対する支援は。
答弁 現在計13人の学生が高崎市奨学資金を利用しており、離職や結婚・出産等の生活状況の変化により当初の返済計画が難しくなった場合は、返済額の引き下げや返済期間の延長などの相談に応じている。

交通安全対策と施設整備
渡辺 隆宏 (新風会)

質問 高齡者や子どもなど、特定の年齢層に対する交通安全対策の取り組みは。
答弁 幼稚園、保育所等の子どもを対象とした交通安全教室リスクラブでは、職員が施設を訪問し、身ぶりやパペット人形を用いて交通ルールの大切さを伝えている。高齡者向けには、うぐいすクラブを開催し、交通安全講話のほか、体操や脳トレクイズなどを織り交ぜ、楽しく理解を深めてもらっている。

質問 交通安全対策と施設整備
渡辺 隆宏 (新風会)

質問 高齡者や子どもなど、特定の年齢層に対する交通安全対策の取り組みは。
答弁 幼稚園、保育所等の子どもを対象とした交通安全教室リスクラブでは、職員が施設を訪問し、身ぶりやパペット人形を用いて交通ルールの大切さを伝えている。高齡者向けには、うぐいすクラブを開催し、交通安全講話のほか、体操や脳トレクイズなどを織り交ぜ、楽しく理解を深めてもらっている。

質問 交通安全対策と施設整備
渡辺 隆宏 (新風会)

本市における青少年の健全育成の取り組み
青木 和也 (新風会)

質問 青少年の健全育成には、青少年を周りがケアし、サポートしていくことが重要と考えるが、本市での取り組みは。
答弁 本市では青少年補導センターを設置し、年間約200回の街頭補導、高崎まつり等での特別補導などを行い、青少年の健全育成と非行防止を推進している。また、小学校3・4年生を対象に警察職員による万引き防止教室を実施し、子どもたちが自分の行動に責任を持つことの重要性を認識する機会としている。

合理的配慮の提供
小野 聡子 (公明党)

質問 本市の合理的配慮の提供に対する取り組みは。また、ヘルプマークの認知度向上に向けた取り組みが必要と考えるが、本市の考えは。
答弁 本市では、市有施設へのユニバーサルシートの設置や、窓口への**軟骨伝導イヤホン**の導入など、障害のある人が利用しやすい設備や環境の提供に努めている。また、ヘルプマークを身に着けた人が周囲の理解を得られるよう啓発していくことは重要と考えられており、認知度を一層高められるよう努めていく。

学校入学時における保護者の負担軽減
宮原 綾香 (たかさぎ未来)

質問 小学校入学時に保護者は算数セットの名前付けに多くの時間を要している。経済的・時間的コストの削減の面から、まずは使用期間が短い算数セットを備品化すべきと考えるが、本市の考えは。
答弁 児童数の少ない数校で備品化しているが、現時点で市全体での備品化については検討していない。今後、先進事例を参考に研究したい。

質問 小学校入学時に保護者は算数セットの名前付けに多くの時間を要している。経済的・時間的コストの削減の面から、まずは使用期間が短い算数セットを備品化すべきと考えるが、本市の考えは。
答弁 児童数の少ない数校で備品化しているが、現時点で市全体での備品化については検討していない。今後、先進事例を参考に研究したい。